

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成24年8月9日 第63号
浜田市農林業支援センター

はじめに

7月17日の梅雨明けとともに連日猛暑が続いています。熱中症には十分注意をし、適度な水分補給と休養をとるなど健康管理には充分配慮してください。

田んぼでは「ハナエチゼン」や「ヒメノモチ」など早生米はかなり稲穂が色付くとともに垂れかけてきました。今月末には稲刈り作業も始まるのではないのでしょうか。高温障害や鳥獣被害などが無く豊作であることを願っています。
(浜田市農林業支援センター長 大谷 十三一)

1. 各支援チームからの話題

★ 新規就農者支援チーム (担当: ^{いなだ} 稲田・^{なかた} 中田)

研修希望者現地視察会

7月28、29日に、ふるさと農業研修希望者による「現地視察会」を開催しました。

この視察会は、東京や大阪などの農業人フェアに来場された方や、個別に就農相談を受けた方などを対象に、2日間で研修受入可能な農業者を訪問するものです。今回の視察会は今年10月からの研修開始を目指し、これから短期研修など希望を取りまとめていきます。

当日は猛暑となりましたが、研修受入先の方からの丁寧な説明と、また地域で暮らすための心構えなどのお話もいただき、参加者は熱心に聞いておられ、とても熱い2日間となりました。



● 認定農業者支援チーム (担当: ^{なかた} 中田・^{いなだ} 稲田)

全国農業コンクールでグランプリ受賞

7月24日、出雲市の出雲市民会館にて「第61回全国農業コンクール」が開催されました。これは、優れた農業経営を展開する生産者の取組を審査・表彰するもので、全国から20の代表が集まりました。実績発表の結果、弥栄町の認定農業者 **有限会社やさか共同農場（佐藤隆 代表）** が、島根県内初となるグランプリの毎日農業大賞を受賞されました。

有限会社やさか共同農場は、大豆などの有機栽培と自家製みそなど有機加工食品の製造を組み合わせ、ブランド化に成功し販路を拡大されており、1次産業の農業に、2次、3次産業である製造・販売を組み合わせ「6次産業」への取組に加え、積極的に農業研修生を受け入れ、地域の新規就農者拡大に貢献されていることが高く評価されました。

今回の受賞を契機としてさらなる飛躍を期待しております。本当におめでとうございます。



■ 集落営農組織支援チーム (担当: ^{たばら} 田原・^{かまはら} 鎌原)

旭町で農作業受託会社設立



7月30日、旭町丸原のJA育苗施設で農作業受託会社「**㈱サンファームみのり**」の事務所開きが行われました。

当日は多数の来賓の方々が駆けつけ、設立を祝うとともに、今後の活躍に期待されていました。

「㈱サンファームみのり」は、旭町の地域農業の支えとなることを目指して、旭町の地元有志の方々によって設立されました。今秋から水稲の作業受託を中心に、育苗施設・ライスセンターの運営や野菜栽培を行っていきます。

当支援センターとしては、今後も集落営農組織等の設立を応援していきます。

2. 島根県で就農しませんか？『就農相談会ツアー』



8月4日、大田市にある農林大学校を会場に「神々の国しまね就農相談会ツアー」が開催されました。関東と関西方面の方で、島根県で就農を検討されている方を対象とした相談会で、22名が参加されました。会場となった農林大学校では各市町がブースを設け、参加者に研修制度やUターン情報などを説明しました。

翌5日、6日は希望の市町を視察することとなり、浜田市へは3名が参加されました。視察は各自地区を訪問し、Uターンされた方や就農されている方から直接お話を伺い、農業を含めた浜田市の現状を感じておられました。

先にご紹介しましたふるさと農業研修希望者現地視察会同様、今後も広く浜田市で就農される方を募り、一人でも多くの担い手育成に取り組んでいきたいと思っています。



3. いちじくの県外視察研修を行いました。

7月26日、浜田市いちじく生産組合は、広島県内でいちじく出荷量1位の尾道市において、選果場及び圃場の視察を行いました。

当日は、JA尾道市の案内により、尾道市いちじく部会の概要と現況について説明をしていただきました。その中で、特にいちじくの出荷について、選別段階から厳しい基準を設けており、高い品質とこだわりを持った取組を伺うことができました。

参加された生産者は、JA尾道市の職員の話を中心に熱心に聴いておられ、今後のいちじく栽培に向けての一助となるべく決意を新たにしておられました。

当支援センターでは、引き続き関係機関一体となっていちじくの生産振興を支援していきます。



4. ブルーベリーの直売会が開催されました。



8月2日、JAきんさい市場黒川店の開設10周年イベントに合わせ、浜田市内のブルーベリー生産農家によるブルーベリーの試食販売会が行われました。

生果を試食されたお客様は、「想像以上に甘い」「摘み取り体験にも参加してみたい」と喜ばれていました。

浜田産ブルーベリーは、9月中旬ごろまできんさい市場を中心に販売されます。この機会にぜひ、新鮮な夏の味覚をお試しく下さい。

5. 『林地残材有効活用事業研修会』の開催について

浜田市においては、今年度から森林所有者による林地残材の出荷を支援する「林地残材有効活用事業」を始めます。事業を実施するにあたり、木材生産について経験が比較的少ない方にも安全に木材生産に取り組んでいただくため、チェーンソー技術等についての初心者向けの研修会を開催します。

□第1回：8月26日（日）チェーンソー整備、目立て研修

□第2回：9月9日（日）伐木・集材・出荷研修

□申込締切：8月21日（火）

※両日とも9：00～16：00、ふるさと体験村にご集合ください。詳細は別紙をご覧ください。

※申し込み先、お問い合わせ：浜田市役所農林課（TEL：25-9510）

○当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信しています。
○ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741（JAいわみ中央本所分館2階）

TEL：0855-22-3500 FAX：0855-22-3477 E-mail：n-shien@city.hamada.shimane.jp

平成24年度林地残材有効活用事業研修会

～ 林業安全技術研修（初級） ～

近年、森林資源の充実や搬出間伐の推進等を背景として、林業の現場は保育中心の作業から木材生産にシフトしており、浜田市においては、今年度から森林所有者による林地残材の出荷を支援する「林地残材有効活用事業」を始めます。

事業を実施するにあたり、木材生産について経験が比較的少ない方にも安全に木材生産に取り組んでいただくため、チェーンソー技術等についての初心者向けの研修を実施します。

記

□第1回 チェンソー整備、目立て研修

日 時： 平成24年8月26日（日）9：00～16：00
集合場所： 浜田市弥栄町 弥栄ふるさと体験村
内 容： 浜田市林地残材有効活用事業説明会、
チェーンソー点検整備、目立て、チェーンソーワークの実習
講 師： 島根県指導林家 荒薦幹雄氏
石見エコー株式会社 農業機械整備一級技能士 平岡四郎氏



□第2回 伐木・集材・出荷研修

日 時： 平成24年9月9日（日）9：00～16：00
集合場所： 浜田市弥栄町 弥栄ふるさと体験村
内 容： 伐木、集材、出荷の実習
講 師： 伐木 島根県林業課 林業普及専門幹 藤田勝氏
集材 株式会社ピーシー販売 代表取締役 堀本幹男氏



●研修にあたっては以下のものをご持参ください

- チェーンソー 目立て道具 ヘルメット 作業手袋
- その他作業に必要なもの（山林でチェーンソー作業ができる服装、靴）
- 雨具（※両日とも屋外での実習となりますので、必ず雨具を持参ください。）

【申込み・お問い合わせ先】

浜田市役所 産業経済部 農林課
〒697-8501 浜田市殿町1番地
電話：0855-25-9510（直通） FAX：0855-23-4040
0855-22-2612（代表）

申込み締め切り：平成24年8月21日（火）

申込みにあたっては
裏面をご覧ください

研修参加申込書

必要事項を記入の上、FAX または郵送でお送りください。

浜田市役所農林課に直接お持ちいただいても結構です。

住所			
(ふりがな)			
氏名			
生年月日	昭和・平成 年 月 日	年齢	
連絡先	— —		
チェーンソー経験 (どちらかに○をお願いします)	あり / なし		

※作業中の保険加入等に必要ですので、全て記入をお願いします。

○で記入をお願いいたします。

8月26日 第1回研修	9月9日 第2回研修
出席 / 欠席	出席 / 欠席
弁当(800円)を 注文する / 注文しない	弁当(800円)を 注文する / 注文しない



※お弁当代は当日徴集いたします。

送付先

〒697-8501 浜田市殿町1番地
 浜田市役所 産業経済部 農林課 まで
 電話 : 0855-25-9510 (直通)
 0855-22-2612 (代表)
 FAX : 0855-23-4040